

## 2007 九州環境教育ミーティング in 福岡

第2回 準備会報告 (2006. 9/8・9)

第3回 準備会案内

(記録者：望月 克哉・杉浦 嘉雄)

### < 当実行委員会 代表 杉浦からのメッセージ >

お蔭様で、第 10 回目の記念すべき「水俣大会」が無事終了し、また、「水俣組」を中心とする大会関係者のご尽力により、10 年間のまとめとして実に相応しい内容の報告書も完成することができました。

感謝・感謝の一言(二言?)につきます！

そして、第 11 回目は、この福岡市において、「新しい大会の内容とかたち」が実現しようとしています。大会事務局の「福岡組」はじめ実行委員メンバー による<新しい取組み>とは、以下のとおりです。

### テーマは、『駅』からはじまる 持続可能な環境地域づくりをめざして～地域環境力の視点から～

福岡市の地下鉄『七隈線(ななくま・せん)』は、福岡市が 環境対策や市民の利便性のために作ったものの、利用客数が伸び悩んでいる地下鉄です。利用客が増えれば、市や商店街・地域住民も喜び、また、渋滞緩和・CO2削減などの環境対策にもつながります。

そこで、利用客数を伸ばすための「七隈線・吸引力増大作戦(叩き台)」を、当ミーティング実行委員会 が、地元の住民・市民グループ・自治体・企業と協働しながら、提案しようということになりました！

具体的には、七隈線・各駅周辺の地域資源(自然・歴史・文化など)を再発見し、それを活用した「環境地域づくりプログラム」を開発するという ミーティングらしい作業を、福岡大会の「分科会」や「交流会」も兼ねて、参加者がやれるだけやっしまおう！という作戦です。

また、その体験と知恵を結集した「報告書」が「提案書」にもなるという寸法です。 ということで…

### 今大会は、「分科会」・「交流会」も すべて「駅」単位で行うことに決定しました。

今大会は、今までの大会とは、既に述べた内容だけでなく、多くのことが、かなり違ってきます！

まず、①大会会場はいつもと違って<大都会の中>です。

また、②いつもの・参加者全員が楽しむ交流会と違って、<交流会＝分科会＝駅単位>になります。

さらに、③宿泊の予約方法までもが、例年とは全く違い、【細く・長く・誰もができる「小さな大会事務局をめぐす」ことや、大都会の環境下で行う大会のために】全参加者が最寄りのホテルなどを自己責任で予約することになるのです！！…

が・しかし、私たち、ミーティング関係者の福岡大会での<ささやかな作業や努力>が、今までの大会以上に、地元への<より具体的・より実益的な貢献(＝持続可能な地域づくりへの支援)>になる仕組みになった！と、今まで準備してきたメンバー一同が大変、喜んでおります。

もちろん、福岡大会日程の最終段階になる<各「駅」に関する成果発表>は、できる限り、大きな会場をお借りして、地下鉄「七隈線」の駅順に並んで、いっせいに発表し合おうではありませんか！

もしも「この大会の企画、とっても面白そう！」と思われた実行委員(あるいは予備軍)の人は、ぜひともご参加下さい。

## 次回の準備会の日、12月15日(金)・16日(土)に集合しましょう！！

皆さんの 積極的なご参加をお待ちしております！！

### <第2回 準備会 出席者の+アルファ紹介>

- ①栗原さん(宮崎県 高千穂町在住であり福岡市の在勤者。「九環教のHP」のお世話役！)
- ②松下さん(福岡組を支える「※はちくまのブログ」の管理人。日本野鳥の会福岡支部のメンバー！)  
※ 正確には『はちくま線・九州環境教育ミーティング 2007 に向けての情報交換のためのブログ』です！  
なぜ、地下鉄『七隈線(ななくま線)』がフィールドなのに、ブログの名前が『はちくま線』なのか？  
それは、この地下鉄が走る「城南区」は「街中にも関わらずタカが渡ること
- ③浅田さん(長崎県 対馬から長崎経由で今回も来ました！)
- ④矢野さん(長崎県 平戸から今回も来ました！ メーリングリストの管理人です！)
- ⑤松本さん(熊本県 小国町のおぐに自然学校の世話人、夫婦ともに実行委員、今回は私が出席！)
- ⑥内田さん(熊本県 県職員で元熊本県環境センター副所長。前は息子が出席、今回は私が出席！)
- ⑦小田さん(熊本県 水俣大会で大活躍した「NPO 法人水俣教育旅行プランニング」の若きホープ！)
- ⑧浜本さん(鹿児島県 くすの木自然館の専務理事であり、当会の副代表です！)
- ⑨藤井さん(福岡県 水俣大会から参加の佐賀大生。生まれも育ちも福岡のうら若き女学生、その1！)
- ⑩吉武さん(福岡県 水俣大会から参加の福岡大生。生まれも育ちも福岡のうら若き女学生、その2！)
- ⑪葛西さん(大分県 当会の本部・事務局長です！)
- ⑫杉浦さん(大分県 当会の代表です！)
- ⑬田村さん(福岡組(大会時事務局)の代表+当会の副代表です！)
- ⑭望月本人(熊本県 なみの高原やすらぎ交流館の世話人です。

今回は、大会事務局の大谷さんの代わりに、準備会の記録をとりました！)

※さらに、2日目の会議からは、福岡組の小野さん・大谷さん(正確には1日目の交流会から参加?)  
そして、福岡組を陰で支える、大中さん(環境未来センター“希望”の女性メンバー)も加わりました。

### <第2回 準備会で 確認したこと・決定したこと (おもに 大会事務局がすべきこと) >

※準備会当日、望月君がノートパソコンに記録したメモは、なんと、A4判の紙にしたら、30頁以上に及ぶ膨大な量でした。そこで、思いっきりカットさせてもらって、確認事項・決定事項を箇条書きすることにしました。当日、「侃侃諤諤の議論」をされたメンバーや、それを必死に記録してくれた望月君には、あらかじめお詫びいたしたいと思います。

(杉浦 記)

### 【第2回準備会 の決定事項】

- ① テーマ名・サブテーマ名  
駅(EKI)から始まる 持続可能な環境地域づくりをめざして ~ 地域環境力の視点から ~
- ② 開会式後の<全体会>で必ず説明する内容
  - 1) この集まりの目的・経緯・分科会を進める方法の説明。(候補者:小野さん・田村さん)
  - 2) どういう視点で見て回り、どんな作業をしてまとめるかの解説(候補者:浜本さん)

＜分科会で見て歩く視点の例＞ 地域資源／宝探し・地域コミュニティのあり方・公共交通機関どうしの関連・公共交通機関を使うための課題など

3) 分科会の安全管理について(候補者:浜本さん)

③ 参加費の確認

3000円から5000円までの範囲で設定。学割は、2000円から4000円まで。

詳細の決定は、予算作成時に、本部事務局へ一任。

④ 今までのミーティングとは異なっている運営(=誰でもできる「小さな事務局」体制)で行う。

●チラシは1回で募集し、応募かつ事前入金した人が、直接大会会場に集合する方式にする。

●チラシで募集した人が、大会の前にわかる情報を、「ブログ」を活用して提供する。

●分科会の希望はとらない。(事務局がバランスを考えながら、「駅」単位に振り分ける)

●交流会は分科会単位(=「駅」単位)で行うことにする。

●大会の宿泊予約は、原則として自己責任で行う。

【本部事務局がすべきこと】

① 以後のチラシ案・後援名義などのテーマをすべて変更する。

駅(EKI)から始まる 持続可能な環境地域づくりをめざして ~地域環境力の視点から~

② 予算案を決定すること。⇒ 大会事務局と連絡

●参加費の確認 ⇒ 上記予算を参考に、代表とともに以下の範囲内で参加費を決定。

(3000円から5000円までの範囲で設定。学割は、2000円から4000円まで。)

③ 補助金・助成金の可能性を探ること。

●助成金申請(コープ福岡)を、予算を参考に、代表・大会事務局とともに叩き台を作成。

●助成金・申請手続きの実施

④ 広報活動のための「チラシ制作」の流れをコーディネートすること。

●第2回準備会(9/8・9)で確認したチラシ情報源を、望月君がまとめる。

●代表・本部事務局が大会事務局と連絡して、情報源の確認・決定をする。

●確認・決定した「チラシ情報源」を、くすの木自然館の立山 芳輝氏に送付する。

●立山さんが作成する。このチラシは従来と異なり、1回で募集して参加できる内容まで入れる。

●完成は、11月下旬予定。12月には、第3回の準備会も含めて、参加者募集開始に利用する。

【大会事務局がすべきこと】

① 「七隈線」沿線のいろいろな情報集め／大会直前まで収集し、参加者に提供する。

●ブログ『はちくま線』に、集めた情報を収集し開示すること

●ブログ『はちくま線』に9/8・9(第2回準備会)の内容を掲載すること

② 福岡大会を開催するに当たって、縁のありそうな企業とは、協賛等の事前交渉すること。

●福岡市営地下鉄の写真展に協賛している企業・富士フィルム等にデジカメとそのプリンターの提供を受けられないかを、第3回準備会前に交渉すること(オリンパスも可能性の視野に入れておく)

●福岡大会チラシのコピーを頼める企業を探す。(例 富士ゼロックスなど)

その可能性も含めて、第3回準備会前までに富士ゼロックスなどに交渉すること

③ 各分科会に、少なくとも実行委員1名、地元協力者2名、御世話係りのスタッフ1名を配置したい。

各分科会に参加者10~12名と仮定。

**第3回準備会(12月)に直接参加できる＜地元協力者＞を 10~20名、必ず探すことが急務!**

- ④ 「分科会」のための七隈線の「駅」を10班に分ける。例えば下記のような案を思案中。
- 1) 天神南・渡辺通り・薬院 2) 薬院大通り 3) 桜坂・六本松 4) 別府 5) 茶山・金山
  - 6) 七隈・福大前 7) 梅林 8) 野芥 9) 賀茂 10) 次郎丸・橋本
- ⑤ 会場の確認作業をする。
- 全体会場⇒ 城南市民センター あるいは 城南体育館 などの下見
  - 本部事務局の設置位置の確認 / 各分科会がまとめて使用する場所の確認
- ⑥ ハチクマ線で示した企画書の福岡大会のテーマは、以後以下のように、表現を変える。  
駅(EKI)から始まる 持続可能な環境地域づくりをめざして ~地域環境力の視点から~
- ⑦ その他(大会事務局がする項目)
- 福岡市城南区長の開会時の挨拶／確認とお願い ⇒ 本部事務局に連絡 ←
  - 分科会用の文具類 (模造紙・ポストイット各班2~3セット・ノリとハサミ・カラーペン等/)の確認
  - 10の分科会の発表用のパソコンやプリンター・プロジェクター(桜坂・六本松)の事前確認

---

## < 第3回準備会のご案内 >

いよいよ最終段階に突入です！

今回は担当・役割決めなど重要事項が山積みです！

実行委員の皆さま、ぜひご参加ください！！

- 参加申込：別紙「出欠届」を本部事務局へお送り下さい。
- 日時：平成18年12月15日(金)19:00~16日(土)12:00まで
- 場所：F E C福岡エコ・コミュニケーション専門学校  
(福岡市博多区大博町4 - 16)
- 内容：全スタッフが集合し、担当決め・全体の流れや分科会の動きなどの確認をする。
- 宿泊：各自でホテルを予約下さい。博多駅・博多港近くが便利です。  
(次ページに宿泊施設参考情報がありますのでどうぞご覧下さい。)

< お問い合わせ先 >

本部事務局：葛西満里子	090 - 8762 - 3344
大会事務局：田村耕作	090 - 8220 - 6160
：大谷誠司	080 - 6410 - 8722

## 周辺宿泊施設参考情報

### 会議会場周辺

福岡マリンホテル新館 〒812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町 10-21

TEL : 092-271-6111 FAX : 092-282-0111

<http://www.marine-new.5star-e.net/> シングルインターネット予約で 4,500 円～

福岡マリンホテル 〒812-0021 福岡県福岡市博多区築港本町 4 - 1 6

電話 : 092-271-1171 FAX : 092-271-3723

<http://marine-hakata.5star-e.net/> シングルインターネット予約で 4,000 円～

### 博多駅周辺

東横イン 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-15-5 博多駅博多口徒歩 2 分

TEL : 092-451-1045 FAX : 092-451-1065

<http://www.toyoko-inn.com/hotel/00043/index.html>

シングルA	¥5,600(税込¥5,880)
シングルB	¥6,200(税込¥6,510)
ダブルA	¥7,200(税込¥7,560)
ダブルB	¥8,200(税込¥8,610)
ツイン	¥8,200(税込¥8,610)

東洋ホテル 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1 丁目 9-36 (博多駅筑紫口より徒歩 2 分)

TEL : 092(474)1121 FAX : 092(474)0591

<http://www.toyohotel-fuk.co.jp/> 宿泊プランにより シングル 5,500～